

放課後等デイサービス「キッズすてっぷとうひ」評価結果

改善内容・改善目標

公表：令和4年 12月 12日

		チェック項目	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2階の空きスペースを自習室や個別支援に利用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	職員の配置はできている。
	3	事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	入口階段を補修し雨天時の危険が回避された。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	毎日のミーティングで前日支援の振り返り当日の支援の流れの確認を徹底している。
	5	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	全員のアンケート回収が困難であるため、回収方法の改善が必要。
	6	この自己評価結果を、事業所の開放やホームページ等で公開しているか	玄関に掲示しホームページにも掲載している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者との連携をさらに密にして行く。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	リモートによる研修が増えてきた。 今後も研修に関してのアンテナを張り資質向上に努める。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	個別担当を決めモニタリングを定期的に行いニーズや課題を支援会議において分析した上で計画書を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	標準化されたアセスメントツールの使用は無い。 アセスメントツールに基づき情報を分析し支援に対応していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	毎日のミーティングで当日の活動プログラムの立案を行っている。 月末には翌月の活動プログラムの立案を行う。

適切な支援提供	12	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	固定化しないようプログラムを振り返り工夫をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	平日の課題は個人個人で設定している。 土曜日や長期休暇は午前、午後と詳細な課題設定をし、支援している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	個別活動と集団活動を適宜組み合わせて支援計画を作成しているが、下校時間により 集団活動に参加出来ない利用者様も生じている為同じ活動が別日にできる様にプランの組み直しを行う。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	職員間の情報共有ができるようになった。 引き続き情報共有に努める。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	支援の振り返りの記録をとり、翌日からの支援の見直しをしている。
	17	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	日々の記録の徹底をしている。 支援の検証をし、改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	半年ごとにモニタリングを行い、支援の見直しをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	基本活動を複数組み合わせた支援を行っている。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	相談支援事業所担当者様、児発管、保護者様、障がい者支援センター担当者様が参加しているが相談支援事業所担当者様と児発管だけの場合もある。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	学校によっては下校時刻の変更の連絡がない。 学校に確認しても電話口の教員が伝える時刻と実際の下校時刻が1時間以上異なった場合もあり、下校時刻の連絡が適切に行われていない。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	連絡体制は整えている。

関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	情報共有はできている。
	24	学校を卒業し、放課後デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	相談支援事業所様には提供している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けいるか	専門機関との連携はとれている。 助言は受けているが研修はコロナの為実施されていない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか	観劇や読み聞かせのイベントに参加することで他学童や生徒との交流ができている。 コロナの落ち着きを見ながら、お互いの施設訪問をし交流を深める。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	地域の連絡協議会へ積極的に参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	特にサポートが必要な保護者との共通理解を継続して行く。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	ペアレントトレーニング支援は行っていない。 個別の対応は行っている。
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	契約時に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	対応できている。 職員間で話し合い保護者様に助言と支援を行っている。
保護者へ	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	コロナ状況を見ながら保護者交流会を実施予定。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	苦情対応は出来ている。契約時に説明も行っている。 苦情が生じた場合は迅速かつ適切に対応している。

の 説 明 責 任 等	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	毎月会報を発行している。 活動内容はブログにもあげて発信している。
	35	個人情報に十分配慮しているか	配慮できている。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	連絡帳を通じて保護者様からの相談があった場合やこちらから気になる保護者様に対しては対面や電話での意思疎通を図っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	事業所での行事には地域住民は招待していない。地域の行事には参加している。また民生委員の方々の見学等は定期的に行われていたが現在は中止している。コロナが落ち着いてきたら行う方向で検討中。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し職員、保護者様への周知もできている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	避難場所までの移動経路の確認を児童と共に定期的に行っている。また災害についての説明も行っている。職員間で救出訓練も行う予定。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	虐待防止委員会を設置し職員研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画書に記載しているか	身体拘束委員会を設置し職員研修を行っている。 保護者様への事前説明ができる様マニュアルを作成している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	食物アレルギーの利用者様はいないが職員間での対応共有はできている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	ヒヤリハットの記録はとっている。 今後は事例集を作成して事例検証と共に事業所内の共有を行っていく。